令和2年 第14回別海町教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和2年11月13日(金)
10時00分から10時50分まで
- 2 開催場所 別海町役場4階第2委員会室
- 3 出席者 (5名)

教育長	登 藤 和 哉
教育委員	大 塚 保 男
教育委員	木 村 江 里
教育委員	伊 勢 浩 子
教育委員	粥 川 一 芳
- 4 出席職員 (12名)

教育部長	山 田 一 志
教育委員会部次長	石 川 誠
学務課長	宮 本 栄 一
学務課主査	佐 藤 亮
学校教育課長	入 倉 伸 顕
生涯学習課主査	恒 川 敦 史
生涯学習課主査	上 杉 大 洋
中央公民館長	内 山 宏
中央公民館副館長	小 村 茂
西公民館長	田 村 康 行
東公民館長	福 原 義 人
図書館長	新 堀 光 行
- 5 議事日程 議案第1号 令和2年度別海町文化功労者表彰被表彰者の決定について
議案第2号 令和2年度別海町スポーツ功労者表彰被表彰者の決定について

教育長
(登藤和哉君)

－【開 会】－

ただいまから令和2年第14回の別海町教育委員会議を開会いたします。

本日の出席者は5名でございます。別海町教育委員会会議規則第5条の定足数に達しておりますので、会議の成立を宣言いたします。

開会に当たりまして、私のほうから一言ご挨拶を申し上げます。

改めまして、皆様おはようございます。

時節柄お忙しい中、御出席を賜り感謝申し上げます。

さて、今年度から、本町の全学校区で本格実施となりましたコミュニティ・スクールでございますが、8月より全学校区の学校運営協議会における別海型コミュニティ・スクールの方向性について説明会を実施させていただきました。先月10月ですべての地区での説明会が終了しております。

どの地区におきましても、長年伝統のある取組みがなされており、それを礎とした地域の信頼関係が強固なものであると認識したところでございます。何よりも、信頼関係をベースに地域と学校が連携しているということが良くわかりました。子どもたちの地域に対する愛着、また子どもたちが地域を誇りに思う心、それぞれが育まれるためには、学校と地域が力を合わせるということが重要であるという風に考えております。それぞれの地域にあったコミュニティ・スクールを構築することが重要であるという風に考えております。

委員の皆様におかれましても、子供たちの成長の支えとなるよう、ちょうど良い折には、お力添えをいただきたいという風に思っております。

次に、先日でございますが、令和4年度供用開始の生涯学習センターの愛称を募集したところ、431案の応募がありました。いずれも秀作で、住民の関心の高さがうかがえるところでございます。詳細につきましては、11月24日開催の別海町総合教育会議の中で、ほかの議題と合わせましてご報告をさせていただきますのでよろしく願います。

朝晩の気温も随分下がってまいりました。委員の皆様におかれましては健康に留意されご自愛いただきたいと思います。

それでは、本日の会議に入ります。

－【前回会議録の承認】－

教育長
(登藤和哉君)

はじめに、日程第2前回会議録の承認に入ります。

令和2年第13回の会議録について、事前に各委員の皆様にご事務局から送付しておりますので、訂正御意見等がありましたら発言をお願いいたします。

教育長
(登藤和哉君)
教育長
(登藤和哉君)

いたします。何かありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

なければ、承認することとしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。

それでは、第13回の会議録については、承認することといたします。

－【報 告】－

教育長
(登藤和哉君)

次に、日程第3報告に入ります。

9月4日に開催いたしました、第13回教育委員会議から本日までの行事や実施事業等について事務局から報告願います。

教育部長
(山田一志君)

それでは、前回会議から少し期間がありますので、報告する内容も多くなりますけれども、私の方から9月4日開催の第13回教育委員会議以降ですね、本日までの主な行事、それから実施事業等について、お配りの資料により報告をさせていただきます。

まず、4日同日ですけれども、13時30分から、定例校長会議が行われまして、教育長及び関係職員が出席しております。

9月7日20時30分から、中春別中学校におきまして、中春別学校区のコミュニティ・スクール学校運営協議会が行われ、教育長それから関係職員が出席をしております。

翌8日18時30分から、別海中央中学校で中央学校区の学校運営協議会が行われ、教育長及び関係職員が出席しております。

そして、11日10時から、庁舎議場で、第4回全員協議会が開催され、教育長及び関係職員が出席しております。

また同日、町内小中学生の表敬訪問がございました。一つが、別海中央ジュニアイーグルス、これは野球少年団ですね、それから別海中央中学校野球部、これは全道大会にそれぞれ出場するとの報告があり、教育長及び町長が対応しております。ちなみに、別海中央中の野球部ですが、既に承知かと思いますが、全道大会で優勝を果たしまして、全国大会への出場を決めているという嬉しいニュースがありました。

それから、9月14日から18日までの間、議場で第3回別海町議会定例会が開催され、教育長以下職員が出席をしております。

定例会最終日18日ですけれども、13時30分から定例教頭会議が行われまして、教育長及び関係職員が出席しております。

それから23日10時から、上風連中学校で上風連学校区のコミュニティ・スクール学校運営協議会が行われ、教育長及び関係職員が出席しております。

翌24日ですけれども、釧路開発建設部のOB会から、マスクの寄贈がありまして、教育長が受納しております。

それから、30日13時30分から、上春別中学校で上春別学区のコミュニティ・スクール学校運営協議会が行われ、教育長及び関係職員が出席しております。

それから同日、教育長が尾岱沼下の句かるた少年団へ北海道青少年基金事業顕彰の伝達を行っております。

また同日、町内の中学生の表敬訪問ということで、先程大会出場に際して表敬訪問がありました別海中央中学校野球部がですね、全道大会優勝の報告ということで、教育長及び町長が対応しております。

そして、月が替わりまして、10月1日、会計年度任用職員の辞令交付を行っております。

同日13時30分から、定例校長会議が行われまして、教育長及び関係職員が出席しております。

また、同日の、この定例校長会議の終了後ですね、教育長から公立学校職員永年勤続者表彰に係る表彰伝達を行っております。

翌2日、道東3管内博物館連絡協議会交流推進会議が町の図書館で開催され、教育長が挨拶を行っております。

次5日、令和元年度の各会計年度決算審査特別委員会が開催されまして、教育長及び関係職員が出席しております。

7日10時30分から、西春別中学校で西春別学区学校運営協議会が行われ、教育長及び関係職員が出席しております。

同日、定例教頭会議が13時30分から行われまして、教育長及び関係職員が出席をしております。

翌8日ですけれども、15時30分から北海道教職員組合他3団体から要請があり、町側から副町長、そして教育委員会から教育長及び教育部長が対応をしております。

9日、根室管内公立幼稚園こども園教育保育研究大会が中西別幼稚園で行われており、教育長が出席しております。

そして9日、第1回北海道幼児教育推進協議会が、そして研修のあり方検討部会、これがZOOMといいますオンラインでの会議なのですが、これが行われ、教育長室から教育長が出席しております。

そして12日、第1回北海道幼児教育推進協議会の幼小連携接続推進部会が同じくZOOMというオンラインの会議が行われまして、教育長室から教育長が出席をしております。

10月の13日、別海中央小学校で幼保小交流会が開催され、教育長が出席しております。この日は4年生から6年生の交流会です。

15日、別海中央小学校で、幼保小交流会、これは1年から3年の学年が開催され、教育長が出席をしております。

19日、第1回予算編成会議が行われまして、教育長及び教育部長が出席をしております。

22日、第5回別海町議会臨時会が開催され、教育長及び関係職員が出席しております。

同日、第2回別海町社会教育委員の会議兼ねて別海町公民館運営審議会が行われまして、教育長及び関係職員が出席しております。

それから28日、第3回認定こども園幼稚園長会議が行われ、教育長及び関係職員が出席をしております。

月が替わりまして、11月2日、第11回別海町新型コロナウイルス感染症対策庁内連絡会議が行われ、教育長及び教育部長が出席しております。

4日13時30分から、定例校長会議が行われ、教育長及び関係職員が出席しております。

そして9日、根室管内学校における働き方改革推進会議が中標津町総合文化会館しるべつとで行われ、教育長が出席をしております。

同日、上記会議終了後、引き続き、根室管内公立小中学校教職員人事推進会議が行われており、これも教育長が出席しております。

それから12日、定例教頭会議が13時30分から行われまして、教育長及び関係職員が出席しております。

そして本日、第14回教育委員会議の開催という風になってございます。

以上で報告を終わります。

－【議 事】－

教育長
(登藤和哉君)

それでは次に、日程第4の議事に入ります。

議案第1号別海町文化功労者表彰被表彰者の決定について、事務局から説明をお願いいたします。

生涯学習課主査
(上杉大洋君)

議案第1号別海町文化功労者表彰被表彰者の決定について、説明をさせていただきます。

議案1ページをお開きください。

去る10月22日に開催しました、別海町社会教育委員の会議において、本件について諮問し、議案3から4ページにありますとおり、文化功労賞個人6件、文化奨励賞団体2件、個人10件について、答申をいただいております。

選考の結果として、答申のあった案件について、それぞれの推薦内容と概要を述べさせていただき、説明とさせていただきたいと思いま

す。

なお、文化功労者表彰規則に、中身としてですね、別海町文化功労賞は町の芸術、科学、教育等の発展に貢献し、その功績が特に顕著なものとなっております、また内規の中でですね、25年以上の活動という風にしております。

次の別海町文化奨励賞については、町の芸術、科学、教育等の発展に貢献し、その功績が顕著である、今後の活動が特に期待されるもの、または全道規模以上のコンクール等において優れた評価を受け、その成績が顕著なものという風になっております。奨励賞については、活動歴の部分では15年以上、また表彰の中身としてはですね、全道規模の大会で成績を収められた方という風な推薦の条件という風になっております。

では、中身について、改めましてご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、文化功労賞個人宋戸昭子さんです。宋戸昭さんは、昭和48年に別海町民謡愛好会の設立にかかわり、成績としてもですね、平成6年には釧路地区道新杯大会江差追分の部で優勝、また資格の面でもですね、平成24年には北海道民謡連盟大師範の称号を得ております。長年に渡り、民謡教室の指導を続けられ、民謡文化の伝承に尽くされているということでなっております。

次に、今野ノブエさんです。今野ノブエさんについては、長年に渡り、和装の研究と伝承に併せて、和の美の追求をするということで、華道、また書道にも精進され、本町の芸術文化活動の振興に寄与されたということでなっております。

次に、大内照雄さんです。大内さんは、昭和56年に社交ダンス愛好会を設立し、現在も事務局としてご活躍をされております。また、中央公民館中春別分館の委員長としてもご活躍されているということで、町内の文化活動の発展に尽力されている方ということになっております。

次に、畠澤憲二さんです。畠澤さんは、高校2年生、昭和41年の朝霧文学会の設立に関わり、その後文芸別海の会員及び編集委員として現在もご活躍をされております。町内の文芸活動の発展に寄与された方ということで推薦をいただいております。

次に、小島政子さんです。小島さんは、昭和40年から華道の活動に携わり、平成27年からは教育委員会が主催するしらゆり生け花教室の西教室、これについては西公民館で開催をしておりますが、その講師としても4年間ではありますが、ご活躍をされている講師であり

ます。本年度についてはですね、しらゆり教室は実施をしておりませんが、西公民館での文化活動の中で取組まれているということで、表彰ということになっております。

次に、保田千恵子さんです。保田千恵子さんは、昭和63年から華道の活動に関わられております。保田さんも、教育委員会の事業でありますしらゆり生け花教室の講師を、平成12年度から令和元年度までの20年間講師を務めていただいております。町内の華道、または文化の発展に大きく寄与された方ということになっております。

次に、文化奨励賞であります、団体の部白銀の翼であります。白銀の翼は、令和2年2月16日開催されました、第23回北海道子供かるた大会中学生の部で優勝ということで、大変優秀な成績を収められたということで、文化奨励賞ということになっております。

次に、中春別中学校リコーダー部になります。中春別リコーダー部は、令和2年1月11日に開催されました、第34回全道リコーダーコンテスト重奏部門中学生の部において、金賞を受賞し、全国に推薦されている状況にあります。推薦された全国大会にですね、新型コロナウイルスの影響で残念ながら開催されず、参加することは出来ませんでした、大変優秀な成績を収められたということで、表彰に値するものと考えております。

次に、同じく文化奨励賞個人になります。

菅野るみ子さんです。長年に渡り、リコーダーの指導を通じ、多くの優秀な演奏者を輩出しております。リコーダー文化のですね、普及、振興に多大な貢献をされているということでですね、推薦が上がり答申となっております。

次に、前田耕平さんです。吹奏楽を通じ、多くの優秀な成績を収め、また別海町だけでなく、根室管内での後進の指導を積極的に行い、吹奏楽文化の普及、振興に多大な貢献をされているということで推薦が上がっております。

次に、乾夏子さんです。乾夏子さんは、第51回全国書道コンクール硬筆の部において特別賞を受賞し、優秀な成績を収められたということでなっております。推薦者については、所属の書道教室から上がっております。

次に、蠟山健人さんです。蠟山健人さんは、別海中央小学校の1年生になりますが、第51回全国書道コンクール毛筆の部において、最高賞を受賞し、大変優秀な成績を収められたという状況になっております。

次に、安井泰二郎さんです。安井泰二郎さんは、別海中央中学校2

年生になります。令和元年度牛やミルクのある風景絵画コンクールにおいて、北海道知事賞を受賞し、優秀な成績を収められたということとなっております。

次に、西塚太亮さんです。西塚さんは、別海中央中の2年生となっております。西塚さんも、令和元年度牛やミルクのある風景絵画コンクールにおいて、北海道教育委員会教育長賞を受賞し、大変優秀な成績を収められております。

次に、牧野ゆめかさんです。牧野ゆめかさんは、中春別小学校4年生になります。牧野さんも、令和元年度牛やミルクのある風景絵画コンクールにおいて、北海道教育委員会教育長賞を受賞し、大変優秀な成績を収められたということになっております。

次に、横田絢音さんです。横田さんは、別海中央小学校3年生となっております。横田さんも同様の、牛やミルクのある風景絵画コンクールにおいて北海道知事賞を受賞し、大変優秀な成績を収められております。

次に、石井高晴さんです。石井さんは、上春別小学校2年生となっております。同じく、令和元年度牛やミルクのある風景絵画コンクールにおいて北海道知事賞を受賞し、優秀な成績を収められております。

最後になりますが、菊地帆愛さんです。菊地帆愛さんは、上春別小学校6年生になります。菊地さんは、令和元年度歯口の健康に関する図画ポスターコンクール高学年の部において、北海道知事賞を受賞し、大変優秀な成績を収められております。

文化奨励賞、文化功労賞に関する内容の説明については以上でございます。

教育長
(登藤和哉君)

只今、議案第1号の内容説明が終わりましたので、委員の皆様のご質問御意見等がありましたら、お受けしたいと思います。何かないでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長
(登藤和哉君)

それでは、質問がないということで、採決をさせていただきます。議案第1号について原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長
(登藤和哉君)

異議がないようですので、議案第1号については原案のとおり決定することといたします。

続きまして、議案第2号令和2年度別海町スポーツ功労者表彰被表彰者の決定について、事務局説明をお願いします。

生涯学習課主査

それでは、議案第2号についてご説明いたします。

(恒川敦史君)

議案書 5 ページをお開きください。

議案第 2 号令和 2 年度別海町スポーツ功労者表彰被表彰者の決定につきましては、令和 2 年 10 月 22 日及び令和 2 年 10 月 28 日に開催された、社会教育委員会議におきまして、別海町スポーツ功労者表彰に係るスポーツ功労賞に 2 個人、優秀選手賞に 7 個人、1 団体について諮問したところ、議案書 6 ページ及び 7 ページに掲載しております、答申書の写しのとおり答申されたことから、被表彰者を決定するものです。

推薦基準につきましては、別海町スポーツ功労賞が、地域社会又は職場におけるスポーツの健全な普及、発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な功績をあげた個人または団体となっております。

別海町優秀選手賞につきましては、全道大会において優勝した個人または団体、2 つ目が全国大会において入賞した小学校、中学校、高等学校及び大学に在学している個人または団体、3 つ目が全国大会において第 3 位に入賞した社会人の個人または団体、4 つ目が国際大会に出場した個人または団体、5 つ目がその他前項に掲げたものと同等と認められる個人または団体となっております。

それでは、被表彰者候補者について説明いたします。

5 ページ目の中段から下段をご覧ください。

1 人目は、別海町スポーツ功労賞被表彰候補者大槻文彦氏です。大槻氏は、ラジオ体操を通じて町民が健康で心豊かな生涯を目標に、ラジオ体操の毎日の励行と各種スポーツ行事への指導員派遣などに努め、スポーツの健全な普及、発展に多大な貢献をされました。

2 人目は岡本裕美氏です。岡本氏は、水泳を通じて水泳の普及、振興と底辺の拡大に尽力され、町民の健康づくりに多大な貢献をされました。

次に、別海町優秀選手賞表彰候補者です。

1 人目は菅原脩司氏です。菅原氏は、インターナショナルマスターズスプリントゲームズ 2020 において、男子スプリントの部で総合第 2 位の優秀な成績を収められました。

2 人目は引地朔野さんです。引地さんは、第 42 回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会において、中学生男子 1500M と 3000M の 2 種目において、いずれも第 1 位の優秀な成績を収められました。

3 人目は宮坂大地さんです。宮坂さんは、第 42 回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会において、中学生男子 1000M で

第1位の優秀な成績を収められました。

4人目は、小島楓さんです。小島さんは、第6回全日本ノービス全国スピードスケート競技会において、中学生女子1000Mで第2位、1500Mで第1位と、優秀な成績を収められました。

5人目は橋本姫桜さんです。橋本さんは、第42回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会において、小学6年女子1000Mと1500Mの2種目において、いずれも第1位の優秀な成績を収められました。

6人目は小島幹太さんです。小島さんは、第42回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会において、小学5年男子1000Mにおいて第1位の優秀な成績を収められました。

7人目は、水谷慎太郎さんです。水谷さんは第72回北海道学生陸上競技対抗選手権大会において、男子3000M障害で第1位の優秀な成績を収められました。

最後になりますが、8人目は団体になります。別海中央中学校野球部です。別海中央中学校野球部は、第12回全日本少年春季軟式野球北海道予選会及び第17回北海道中学校軟式野球選抜選手権大会において、見事優勝をされました。

以上で、被表彰者候補者についての説明を終わります。

教育長
(登藤和哉君)

只今、議案第2号の内容説明が終わりましたので、皆様方からの御質問御意見等をお受けしたいと思います。何かありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長
(登藤和哉君)

ご質問がなければ、採決をさせていただきます。

議案第2号について原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長
(登藤和哉君)

異議がないようですので、議案第2号については原案のとおり決定することといたします。

－【その他】－

教育長
(登藤和哉君)

それでは議事についてはすべて終了いたしましたので、日程第5その他に入りたいと思います。

その他について、事務局何かあるでしょうか。

教育部長
(山田一志君)

それでは、折角の機会ですので、少し報告をさせていただきたいという風に思います。

皆様のほうに別紙資料ということで、資料をお配りさせていただいておりますので、それを参考にしながらお話をさせていただきます。

まず、前回の会議以降ですね、少し期間があきましたので、教育委

員会に関係する状況等についてご報告をいたします。

まず最初に、町内の小中学校の修学旅行の実施状況ですが、9月15日の中春、上春中学校を皮切りに、11月4日の日にですね、別海中央中ということで、これを最終としまして全ての学校で実施が完了しております。各学校では、札幌市を含む石狩管内の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、旅行行程の組立てに大変苦勞をしたと聞いており、中には他校の旅行中の生徒に感染が確認されたことに伴ってですね、直前に宿泊先や見学先を急遽変更するというような学校もございましたが、無事に終えております。

次に、学芸会や学校祭に代わります、文化的行事の開催状況ですが、各学校の文化的行事につきましては、中学校では全ての学校が終了しまして、小学校では野付をはじめとします4校と、それから3園の幼稚園がこれからの開催となっておりますが、いずれも例年とは異なる状況とはなりますが、短時間、それから学年毎、演目の精選、観客の入替えというようなことで、コロナ感染対策をしっかりと行ったうえで開催することとしております。

次に、新型コロナウイルス感染症についてでございます。まず、各学校の対応についてお話しをさせていただきます。

まず、大きく1点目ですが、ステージ1からステージ2へ移行したことに伴う対策についてであります。北海道では、新型コロナウイルス感染症の急増を受け、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部会議におきまして、10月28日をもって道の警戒ステージをステージ1からステージ2に引き上げるということで、北海道教育委員会からその対応について各通知が発出されております。このことを受けまして本町教育委員会では、ここで別紙資料でありますように、ちょうど1ページあたりがそうなんです、各小中学校、それから公立認定こども園の方へそれぞれここにある内容をしっかりとってくださいということで通知をしております。まず、小中学校ですね、それから公立認定こども園幼稚園型の部分なのですが、この添付資料の1から4の1ページなのですが、保護者への対応を含めましてですね、こういった内容の通知文を出しております。また、私立の認定こども園に対しましても、同様の通知を出しているところであります。

このステージ1から2へ上がったことによるですね、具体的な対応、この変更点について少しお話しをさせていただきますと、資料1ページの下線部にありますように、発熱等の風邪症状がある場合の出席停止措置の対応についてなんです、これまでは児童生徒、本人のみ、これを対象としていたものが、ステージが移行したことによってです

ね、同居の家族まで拡大をされております。また、児童生徒の健康観察票についてですが、同居家族の状況や保護者のサイン等の欄を新たに設け、確認するということが加えられ、観察票の確認については登校時校舎に入る前に玄関内で行うというようなことで、そういった対応が新たに求められております。

次にですね、部活動、少年団活動についてですが、1から2へのステージ移行による対策の変更点は、本町の感染状況を踏まえてですね、具体的な変更点はないものとして、特に通知は発出しておりません。

それから、町立の社会教育施設等での対応についてですが、資料5から6ページにあるようにですね、総合スポーツセンター施設及び社会体育施設に関わってですね、感染症対策の徹底をお願いしているところでもあります。

また、併せまして、一部学校では学校開放授業としまして、学校の体育館を開放してございまして、同様にですね、7から8ページの内容についてそれぞれ関係のするところに送りまして、対策の徹底をお願いしたところでもあります。

ただ、ステージ移行に伴う変更という部分では、本町の感染状況を踏まえまして、これまでの具体的な対応の変更点はないのですが、防止策を徹底してほしいとの通知を行っているものであります。

次に、更にご承知のとおり、ステージ2からステージ3へ移行したということで、道のほうでは10月28日から11月10日までの対策強化期間を定めて取組みを進めてきましたが、以降も道内の感染の拡大が収まらず、11月5日には100人の大台を超える119人の感染が確認されまして、11月9日には200人を超える状況と、また更にその以降もですね、200を超えるというような状況となっております。こういったことを踏まえまして、11月7日に警戒ステージがステージ2からステージ3に引き上げられまして、これに併せてですね、北海道教育委員会からその対応について通知が出されております。このことを受け、町教委でも小中学校、それから公立認定こども園等に各対応をとることとして通知をしているところでもあります。その内容についてなのですが、資料の2ページをお開きいただきたいのですが、下段の表左から2列目ですね、ここに国の新型コロナウイルス感染症分科会提言における分類ということで、国の分類があります。ここにあるとおり、国では4段階の警戒ステージの区分となっております。その左側の列ですね、これが北海道の警戒ステージになるのですが、この警戒ステージ2と3については、国のステージ2の中に同一区分されております。対応の違いについてはですね、特措法

第24条第9項に基づく要請という部分では変わりはありませんが、道のステージ2のほうでは、個々の行動変容に対する協力を要請するというようにされて、ステージ3では感染状況を踏まえたより強い行動変容に対する協力を要請するというような内容になっております。実際、ステージ3に移行したことに伴う学校等の対応の変更点ということになりますと、本町の感染状況を踏まえたとこのステージ引き上げによるこれまでの具体的な対応との変更はないということになりますが、防止策をより徹底するというようなことで、それぞれこの資料の9ページ10ページにあるように、学校及び、この資料には載っていないのですが総合スポーツセンター等の施設、これらに対してもしっかりと対応するよというように通知を出しているところであります。

それから、次にその総合スポーツセンターの利用者に対してなんですが、資料の11ページ12ページにありますように、感染症の対策チェックシートっていうものを作りまして、この提出を求めるというような措置をとっております。

このようにですね、道内の感染状況の拡大に伴いまして、それぞれ適切に本町教育委員会では学校及び各施設に対して通知をするなど対応をとっておりますので、委員の皆様にもそこをご承知おきいただきたいという風に思います。

以上で私からの報告は終わります。引き続き、石川次長のほうからも報告がありますので、よろしく願いいたします。

それでは私のほうからも、3点ほど報告させていただきます。

まず1点目です。旧奥行臼駅通所の来所者数についてです。

旧奥行臼駅通所は昨年リニューアルオープンしまして、過去最高の3,288名の来所数を記録し、リニューアル前の来所者数と比べると倍の人数となり、今年度2年目となる今年も道内から多くの来所者を期待していたところですが、新型コロナウイルス感染症のため、通常5月からのオープンを1か月遅らせて感染症対策を施して、6月から先日11月3日までの開放を実施してきました。やはりコロナ禍のため、来所者数は激減し、合計で1,209名となり、昨年の3分の1に留まりました。

来年度も感染症が収束することは難しいとは思いますが、現在来年のオープンに向けて整理と準備を着々と進めているところです。

続いて2点目、各地区プールに係る現地説明会の実施についてです。

町には3つの温水プールのほかに、地区プールが上風連、中西別、上春別、中春別、そして西春別の5カ所に設置しており、いずれも建

部次長
(石川誠君)

築後約30年経過しております。

今年度はコロナ禍のため、学校体育の水泳授業等に対し、感染対策が十分に行き届かないと判断し、地区や学校の理解も得て、地区プールの運営は中止させていただいたところです。地区プールの運営については、温水プールが設置された以降、過去にも何度か存続の可否について協議してきた経緯はありますが、各地区住民のプール存続への強い要望により、現在まで至っております。しかし、コロナ禍の収束が全く見込めない状況であることと、加えて全国での水泳やプール内の事故が依然多発している状況を受け、地区プールであっても安全対策や管理の方法を見直さなければならない時期に来ており、今までどおり地区プールで運営していくには高いリスクを生じることとなるため、この機会に再度地区プールの存続について地域の方々と協議が必要と判断し、今週5日間をかけて順次各地区に出向いて説明会を現在実施しているところです。

その協議結果につきましては、またこの教育委員会議の席で改めて報告させていただきたいということによりよろしくお願いいたします。

最後に3点目です。第67回別海町少年弁論大会の開催についてです。

明日14日土曜日に、別海町マルチメディア館を会場に、町内中学校8校から代表2名による第67回を数えます、別海町少年弁論大会が開催されます。当事業につきましては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施することとし、観覧者を制限するほか、初の試みで会場の生映像をリモートで配信する予定であります。

本来であれば、委員の皆様にもご案内してご来聴いただきたいところではありますが、コロナ対策による人数制限をしておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

以上で、生涯学習課からの報告を終わります。

教育長
(登藤和哉君)

それでは、只今の説明について、委員の皆様方からご質問やお聞きしたい点等がありましたらお受けしたいと思います。何かありませんでしょうか。

教育委員
(木村江里君)
生涯学習課主査
(上杉大洋君)

今の弁論大会についてなんですけれども、リモート配信は町民はどなたでも聞くことができるのですか。

リモート配信については、現在チラシです、お申し込みを受け付けるという形で進めております。メールアドレスで確認させていただきまして、配信に入る方法をその方にメールでお知らせするという形になっております。今ちょうど生涯学習課でも受付を実施しておりますので、パソコン、スマートフォン、色んな機器で受信できますの

教育長
(登藤和哉君)
教育長
(登藤和哉君)

で、是非ご興味があれば参加をいただければなと思っております。

そのほか、何かございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、以上で本日予定をしておりました案件についてはすべて終了でございます。

これをもちまして、第14回教育委員会議を閉会いたします。

皆様、大変お疲れ様でございました。

－【閉 会】－